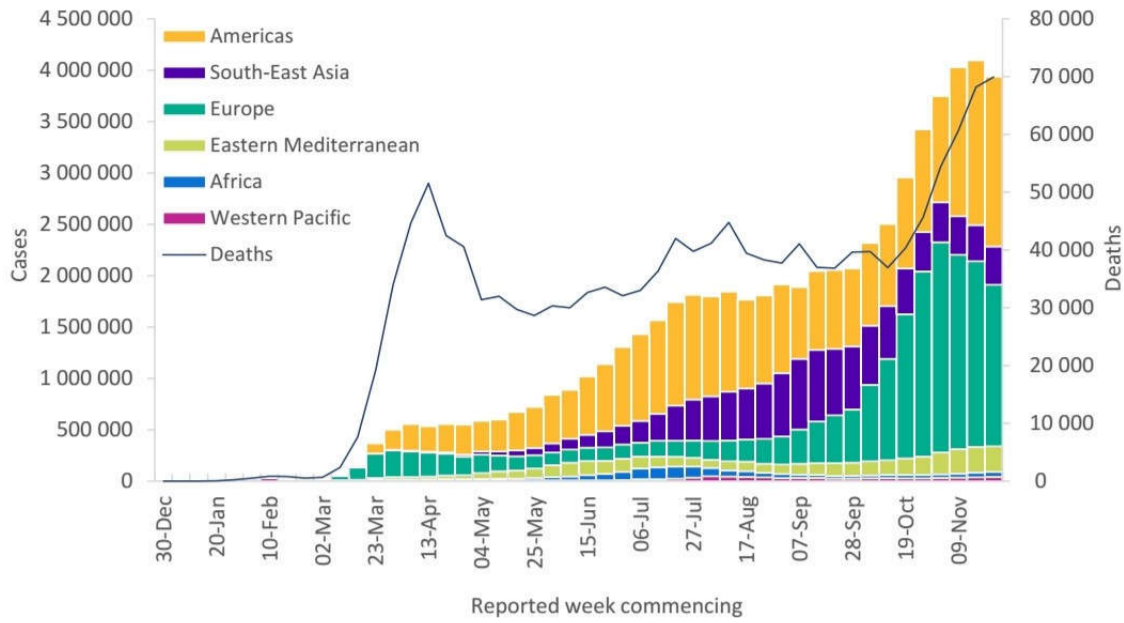




二十二十年十二月七日

Figure 1: COVID-19 cases reported weekly by WHO Region, and global deaths, as of 29 November 2020\*\*



☆ 冬將軍の到来ならず第三波の到来。通常ならインフルエンザの季節、今年はコロナの冬となりそうです。楽しみにしていたクリスマスも、お正月も今年は見送ることになりそうです。第二波を乗り越えることができたのが、ただ単に運がよかっただけと思われないうな、そういう政策を切望します。

☆ 世界の感染の傾向・・・WHOの統計から、ヨーロッパはロックダウンを再び発動し感染は減少

傾向です。選挙の混乱が収まらないアメリカでは感染者は増え続けています。仮に今、強力な対応策を全世界で行っても感染の収束に半年以上かかることはグラフを見ればあきらまかです。経済に目を向ければそんな強力な対策はどの国もできないのもおそらく現実でしょう。日本では第3波到来。政治の迷走、専門家の逃げ腰、一般の方々にも“コロナ慣れ”の蔓延。コロナはまだ慣れるほど甘くないです。ワクチンについては朗報が聞かれます、大きな希望ですが、現実には使えるにはまだ時間がかかります。

☆ どのマスクを使うべきか・・・スーパーコンピューター富岳の解析は示唆に富みますが、ほとんど想像できていたことのように思えます。自分が出す飛沫をN95マスクはほぼ完全にブロックします。不織布マスクもほとんどブロックしますが、隙間から空気が漏れるときには当然微粒子も漏れます。ウレタンのマスクもブロックしますが1層のメッシュからは直接漏れる微粒子がかなりあります。マウスシールドといわれるものは、ほとんど役に立たない。なぜこれが使われているのか。偉い政治家が使ったためにひろがったような気がする。ポーズでしかない。彼らの行ってきた政治そのものだ。フェイスシールドといわれる眼球粘膜保護の物は、自分の飛沫を予防できない。そのように設計されていないから当然です。フェイスシールドは不織布マスクと一緒に使うべきものです。一方空間を浮遊する微粒子、空気感染も考えられるウイルスの吸い込みを防ぐ効果は、やはりN95マスクがよい、不織布マスクもかなり有効。息を吸う時に顔にくっつく感じのある不織布マスクはN95に匹敵するように思えます。息苦しさ強いのが良質なN95マスクより劣るところ。ウレタンマスクはやはり直接微粒子を吸い込む場合があります、マウスシールドやフェイスシールドは繰り返し使えますが期待できない。布マスクはそれほどウレタンマスクと不織布マスクの間でしよう。ウイルスをブロックするにはきめの細かい不織布が複数層必要なこと、マスクのすき

☆ マウスシールドはやめてください、意味はありません。・・・忘れていませんか？粘膜からもウイルスは入ること。感染リスクの高い状況では、眼球結膜からのウイルス侵入を防御する必要があります。誰が感染しているかわからない以上近い距離で会話が必要な時注意が必要です。言い換えればソーシャルディスタンスが取れないときは目を守りましょう。その方法は、①眼鏡、②ゴーグル、③各種フェイスシールドなど。眼鏡をしていても②③を併用するのが良い。医療従事者は基本的には不織布マスクとゴーグルあるいはフェイスシールドなどを使います。最初から行われてきた基本的なこと、何ら変わりません。気を抜かず続けましょう。

☆ 感染を広げないためには、感染者と接触しないか、十分な防御をすることです。感染者かどうかかわからないと、社会的な活動が大きく制限されます。知らない、わからないと、感染者を市中に野放しにすることは医療者としてはあつてはならないと思います。われわれはコロナから逃げることはできるのでしょうか？無症状の感染者もいます。頭痛だけの方がいます。来院時に初めて発熱がわかる方もまれではない。医療者としては、少なくとも症状がある人には、コロナウイルス感染があるかないか調べるのは当然の責務ではないのでしょうか。他の誰がその検査をしてくれるのでしょうか。

☆ 発熱外来・・・帰国者・接触者外来を中心としたコロナ感染者の早期発見施策が変わりました。十月からは、一般のクリニックなどでも検査を受けることが推奨されるようになっており、当然



☆ 海外渡航者新型コロナウイルス検査センター (TeoT)・・・海外渡航者のために、中国をはじめ多くの国で入国前にコロナウイルスの陰性証明が必要です。当院ではいまままで中国、タイ、インドネシア、韓国、ベトナムへの渡航の方に対処してきました。健康者のPCR検査の申し込みは、旅行者も含めインターネットのホームページ上だけで受け付けております。クリニックの混雑をできる限り回避すべき努力しておりますが、ご迷惑をおかけすることがあるかもしれません。ご理解のほどよろしくお願いいたします。

★ インフルエンザワクチン残部僅少。なくなりしだい終了します。

**無症状者・海外旅行者のための PCR・抗体検査**

**インターネットのHPから予約下さい**

- RT-PCR および抗体検査によって対応しています。特別な書式は各自ご用意ください。
- 予約はインターネットで・質問は受付まで

**医院からのお願い**

- ★ 電話再診・オンライン診療が利用できます。受付などでご相談ください
- ★ 体温を自宅で計って発熱があればあらかじめ連絡をください！
- ★ 医院の入り口で体温を測ります。発熱者は車内での待機をお願いします
- ★ 入り口で手指消毒・マスクをしてください

コロナニュース ⑬ 二十二十年十二月七日発行  
編集・文責 村松正俊

